

福知山市新文化ホール基本計画

再検討結果報告書

令和8年1月 21日

福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

まえがき

福知山市が令和5年7月に策定した「福知山市新文化ホール基本計画」について、多くの市民のみなさまから様々なご意見があったことから、市は、令和6年3月、新文化ホール基本計画の再検討を行う方針を表明し、同年9月に「福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会」を設置されました。

再検討委員会では、多様な立場の市民委員により、慎重に議論を重ね、新文化ホールの機能、規模、場所について検討を進めてきました。

これらの検討にあたっては、市が実施した市民アンケートや意見懇談会、サウンディング型市場調査などを通じて広く市民や事業者のみなさまの声を伺いながら、将来にわたり市民に親しまれ、持続可能な文化施設となるための方向性を探ってきました。

さらには、令和7年10月、再検討の方向性案を公表し、市民のみなさまから再度ご意見をいただきました。

本報告書は、こうした経緯を踏まえ、福知山市における新文化ホール整備の方向性を提言するものです。

新文化ホールが、基本理念に掲げられている「人をつなぐ、活動をつなぐ、時をつなぐ～新たな福知山市の魅力を築く文化振興の拠点～」となることを大いに期待しています。

令和8年1月
福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会
委員長 夜久 豊基

目次

1.はじめに	3
2.検討の背景	3
3.再検討結果	3
(1)ホールの機能について	3
(2)ホールの規模について	3
(3)建設候補地について	3
(4)その他	5
①整備手法	5
②その他機能	5
4.今後に向けて	5
資料	6
福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会 開催概要(第1回～第10回)	7
新文化ホール整備事業の検討に関するサウンディング型市場調査(オープン型)実施結果	11
先進地視察結果報告書	15
福知山市新文化ホール基本計画再検討の方向性に係る市民意見募集結果	17
福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会委員名簿	18
福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会アドバイザーネーム簿	19
最後に	20

1. はじめに

福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会は、福知山市が進める新たな文化ホール整備に関して、市民意見の反映と計画の再検討を行うことを目的に設置されたものである。

本委員会では、市民懇談会、市民アンケートなどを通じて多くの市民の声を伺い、それらを踏まえて施設の機能、規模、場所について市民の目線で多角的に検討を進めてきた。

2. 検討の背景

市が令和5年7月に策定した「福知山市新文化ホール基本計画」について、多くの市民のみなさまから様々なご意見があったことから、市は令和6年3月に新文化ホール基本計画の再検討を行う方針を表明した。同年6月、「福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会」を設置し、市民のみなさまの関心が高い「機能」「規模」「場所」の再検討を開始した。

3. 再検討結果

(1)ホールの機能について

- ・客席は主に「段床固定席」で構成し、音響や視認性に優れた空間を確保する。
- ・市民の発表会からプロの公演まで多様な演目に幅広く対応する。

«旧基本計画P4関連»

(2)ホールの規模について

- ・座席数は1000席を基準とする。
- ・多様な演目に柔軟に対応するため、取外し可能な座席を設置するなど席数調整(800席から1000席)が可能な仕様にする。

«旧基本計画P4関連»

(3)建設候補地について

建設候補地については、以下の2つのゾーンとし、優先順位は定めない。また、両候補地(ゾーン)については、可能な範囲で民地も含めた活用の検討をされたい。

«駅北ゾーン»

公共交通機関の利便性が高く、市民利用の多い既存施設との連携が期待できるゾーン。

«御靈公園・厚生会館ゾーン»

中心市街地における回遊性の向上やまちづくり全体への波及効果が期待できるゾーン。

«旧基本計画P11関連»

[建設候補地の位置図]



地図出典：openstreetmap の地図に一部追記

(<https://www.openstreetmap.org/#map=17/35.299365/135.119251>)

(4)その他

①整備手法

施設の整備については従来手法(市による直接発注方式)に限定せず、デザインビルド方式や公民連携手法を含め、多様な整備手法を検討されたい。

«旧基本計画P18関連»

②その他機能

多くの人が集い、交流し、日常的に使われる場として人の流れを生み出すことで、将来にわたり市民や来訪者に親しまれる施設となるよう、文化芸術に関する機能だけではなく、まちづくりの視点やにぎわい創出の視点を踏まえた機能の集約化や複合化を検討されたい。

«旧基本計画P4～10関連»

4. 今後に向けて

この報告書は、本委員会におけるこれまでの検討を通して、市民の多様なニーズに応える文化ホール整備の方向性を提言するものである。

今後、市においては、市民が主役になれる、そして市全体のまちづくりに寄与する新文化ホールの実現に向けて、事業者や市民等の意見もお聞きしながら、新しい基本計画や事業運営計画を策定されたい。

なかでも、建設地の決定にあたっては、候補地における今後の動向と土地活用の可能性を探りつつ、様々な視点から柔軟に判断されたい。

また、施設の整備にあたっては、建設費や運営費などのコストが将来にわたり過度な負担とならないよう、国の補助金や有利な地方債の確保はもとより、ネーミングライツの導入など、多様な財源の獲得にも努められたい。

資 料

福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会 開催概要(第1回～第10回)

第1回 福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

開催日時 令和6年9月26日(木曜日) 午前9時30分～午前11時30分

開催場所 市民交流プラザふくちやま 会議室3-2及び3-3

議題 (1)新文化ホールの検討に係るこれまでの経過について

(2)今後の進め方について

(3)市民アンケートの結果について

概要 再検討委員会の設立と方向性の確認

市民アンケート結果やこれまでの基本計画の経緯が共有され、再検討委員会の目的と進め方を確認した。

第2回 福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

開催日時 令和6年11月12日(火曜日) 午前9時30分～午前11時30分

開催場所 福知山市役所 5階 全議員協議会室

議題 (1)市民が求める新文化ホール及び再検討のポイントについて

(2)他都市文化ホールについて

概要 他都市事例の分析と市民ニーズの整理

他都市の文化ホール整備・運営事例を参考に、機能構成や規模設定の考え方が紹介された。市民懇談会の意見に見られた「プロの公演と市民利用の両方ができるホール」への期待を踏まえ、再検討のポイントを議論した。

第3回 福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

開催日時 令和6年12月24日(火曜日) 午後1時30分～午後3時30分

開催場所 福知山市厚生会館 中会場

議題 (1)新文化ホールに求められる規模について

(2)新文化ホールの候補地案について

概要 規模と候補地の検討

座席数と候補地の比較検討が行われました。座席数について各委員の意見を出し合い、といったんは意見が集中した800～1200席規模と幅を持たせた状態で議論することとした。候補地については交通の利便性が高い場所や福知山の特色を生かしたまちづくりに寄与できる場所などの条件を挙げ、具体的な候補地名を出して議論を行った。

第4回 福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

開催日時 令和7年2月7日(金曜日) 午後1時30分～午後3時30分

開催場所 福知山市総合福祉会館 33・34号室

議題 (1)今後のスケジュール(案)について

(2)再検討のポイントについて

①サウンディング型市場調査について

②財政シミュレーションの進め方について

(3)建設場所の方向性について

概要 検討項目とスケジュールの整理

市民説明会や市民懇談会、再検討委員会等で出された14か所の建設候補地案及び基本計画策定時に示された6か所の候補地のすべてを候補地案とし、今後実施する「サウンディング型市場調査」にて民間事業者等の意見を伺いながら再検討を進めることとし、当初5回で予定していた委員会の開催回数を10回に延長した。

第5回 福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

開催日時 令和7年3月26日(水曜日) 午後1時30分～午後3時30分

開催場所 福知山市厚生会館 中会場

議題 (1)サウンディング型市場調査における質問について

(2)令和6年度の再検討内容について

概要 サウンディング型市場調査の準備

第4回で検討した建設候補地を踏まえた実現可能性を図るために、サウンディング型市場調査で行う質問項目を検討した。調査結果を資料として第6回目以降の再検討委員会にて検討を進めることとした。

新文化ホール整備事業の検討に関するサウンディング型市場調査

開催日時 令和7年4月26日(土曜日) 午前9時30分～午後1時15分

開催場所 ハピネスふくちやま 市民ホール

※詳細は、P11～14参照

第6回 福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

開催日時 令和7年5月27日(火曜日) 午後1時00分～午後4時00分

開催場所 福知山市厚生会館 中会場

議題 (1)サウンディング型市場調査について

(2)固定席と可動席について

(3)駐車場について

概要 候補地、整備手法、座席種類の絞り込みと駐車台数の決定

サウンディング型市場調査の結果を受け、新文化ホールの候補地を「中心市街地エリア」に属する候補地に絞り込んだ。また、公民連携手法の導入を検討するよう市に求めることとした。座席の種類は施設の視察を行って検討することとし、駐車場については、建設地の決定後に具体的な駐車台数を検討することとした。

先進地視察

視察日 令和7年7月2日(水曜日)
視察先 永守重信市民会館(向日市)
京都市立芸術大学堀場信吉記念ホール(京都市)
ガレリアかめおか(亀岡市)

※詳細は、P15～16 参照

第7回 福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

開催日時 令和7年7月10日(木曜日) 午前9時00分～午前11時30分

開催場所 福知山市総合福祉会館 33・34号室

議題 (1)建設候補地について
(2)固定席と可動席について
(3)今後のスケジュールについて

概要 建設候補地の更なる絞り込みと座席種類、席数の決定

建設候補地を5つのゾーンに分けて検討を進めた結果、『駅北ゾーン』、『御靈公園・厚生会館ゾーン』の2つに絞り込んだ。また、座席は固定席を基本とし、規模は1000席を基準としつつ、場所の検討にも影響するため、800席から1000席と幅を持たせること、一部の座席は可動席等として座席数を可変することなども視野に入れて整備することを決定した。

第8回 福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

開催日時 令和7年8月1日(金曜日) 午後1時30分～午後3時30分

開催場所 福知山市厚生会館 中会場

議題 (1)整備費の単年度負担額(目安)について
(2)施設機能について
(3)建設候補地について

概要 整備費の見通しと舞台機能の具体化、候補地の更なる絞り込み

類似施設の事例を参考に建設費用を仮置きし、想定される財源内訳や交付税措置、及び市の単年度負担額(目安)を確認した。また、舞台が広すぎると興行主が負担するコストが増えるため、プロも市民も利用しやすいように適正な広さの舞台とすることとした。そして、第一候補を駅北ゾーン、第二候補を御靈公園・厚生会館ゾーンに絞り込んだ。

第9回 福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

開催日時 令和7年8月28日(木曜日) 午後2時30分～午後4時30分

開催場所 福知山市厚生会館 中会場

議題 (1)再検討結果及び市民意見公募について

(2)今後のスケジュール(案)について

概要 再検討結果の整理と市民意見公募の準備

これまでの検討結果をもとに、市民意見公募を実施することとし、市民にわかりやすい説明資料を整備し、幅広い層から意見を募ることとした。また、ここでの意見を受けて、最終的に市に報告する再検討結果を確定させることとした。

福知山市新文化ホール基本計画再検討の方向性に係る市民意見募集

募集期間 令和7年10月20日(月曜日)～11月28日(金曜日)

※詳細は、P17参照

第10回 福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会

開催日時 令和7年12月23日(火曜日) 午後2時30分～午後4時30分

開催場所 福知山市厚生会館 中会場

議題 (1)市民意見募集の結果について

(2)新文化ホールの機能について

(3)再検討結果のまとめ

概要 市民意見募集結果の確認と再検討結果報告書作成準備

10月から11月にかけて実施した市民意見募集にて市民のみなさまよりいただいた意見を確認した。それらの意見を踏まえて、市に提出する再検討結果に盛り込む内容について意見交換を行った。建設候補地については、優先順位を定めず、2つのゾーンを並列で提案することとした。今後、事務局にて再検討結果報告書の案を作成し、次回の再検討委員会にて報告書を完成させることを確認した。

※各回の詳細な議事要旨は福知山市オフィシャルホームページに掲載しています。

新文化ホール整備事業の検討に関する サウンディング型市場調査(オープン型)実施結果

1 調査の名称

新文化ホール整備事業の検討に関するサウンディング型市場調査(※オープン型)

2 調査の目的

福知山市では、令和5年7月に策定した福知山市新文化ホール基本計画について、令和4年12月に策定した基本構想に定めた『人をつなぐ、活動をつなぐ、時をつなぐ～新たな福知山市の魅力を築く文化振興の拠点～』という基本理念は大切にしつつ、市民説明会や市民懇談会で出された意見を踏まえて、令和6年9月に設置された福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会において、機能、規模、場所、スケジュールなど、基本計画のすべてについて、議論し見直しを行ってきました。

この度、施設の規模及び建設候補地をはじめ、具体的な整備手法や公民連携手法の導入可能性、課題、その他市場性などを把握することを目的として、民間事業者等から幅広く意見・提案を募るサウンディング型市場調査を実施しました。

3 建設候補地・施設の概要

(1)建設候補地

建設候補地の詳細は、「建設候補地の概要一覧(実施要領 別紙1)」、「建設候補地位置図(実施要領 別紙2)」のとおりです。

(2)施設の概要

ア 機能・規模

鑑賞の機会及び体験の機会を提供するための機能を有した、1,000席程度のホールを備えた施設を想定しています。

イ 整備諸室等

整備する諸室等の詳細は未定です。※基本計画の内容を参考

4 実施スケジュール

令和7年3月27日(木) 実施要領の公表

令和7年4月 9日(水) エントリーシートの受付締切

令和7年4月26日(土) サウンディングの実施

5 サウンディング参加事業者(合計10社)

«現地参加» 計3社

・経営コンサルタント 1社

- ・ビルメンテナンス 1社
 - ・一般土木建築工事業 1社
- «書面参加» 計7社
- ・一般土木建築工事業 3社
 - ・土木建築サービス 2社
 - ・民生用機器卸 1社
 - ・物品貯販 1社

6 サウンディング結果(現地参加分)

(1)建設候補地について

- ・事業実施の効果が高いと想定される候補地としては、福知山駅から徒歩15分圏内の市街地や福知山城付近の城下町エリア、車でのアクセスが容易な三段池公園の意見があり、事業者ごとに意見が異なっていた。

【市街地エリア】

- ・街中エリアなどを対象に、特定の場所が多くの人で賑わっている印象をつくることを狙うべき。
- ・公共機関や駐車場へのアクセスが良好で、多くの市民や広域の集客が期待できる。
- ・歴史と文化を組み合わせることで地域ブランディングを強化。
- ・施工が数年にわたるため、市街地エリアでの建設工事は交通状況に支障をきたす恐れがある。

【郊外エリア】

- ・ホールには主に京都府北部の方が来ることが予想されるため、駐車台数確保の観点から三段池が適切。

(2)事業実施に関する提案等について

①ホールの規模

- ・市民が利用しやすい300～500席前後、500～700席前後のホールを設置し、他の都市よりも稼働率を上げるべきという意見や、市民利用(200～300席)や興行(800～1200席)など用途ごとに複数ホールを設ける意見もあり、事業者ごとに意見が異なっていた。

②求められる機能

- ・ホールと他の施設を複合化することによって魅力向上し人を呼び込む提案がある一方で、複合化した施設の売り上げを文化ホールの運営費に充てる案については難しいとの指摘もあり、事業者ごとに意見が異なっていた。

③公民連携手法

- ・3事業者による事業手法の提案には公民連携手法の様々な方式が含まれていた。

- ・PFIの導入の際には、コストカットのしわ寄せが運営を担うイベント企業に及ばないよう、仕様書で事業費のために残しておくべき金額を定める、運営を担う企業を先に決めてから設計・建設企業を決めておくなどの工夫が必要。
- ・PFIは参加企業が出資しあって目的会社をつくることになるため、倒産リスクから事業を隔離できる。
- ・コンセッションの導入は難しいため、PFI事業やDB先行型の従来方式等での整備を推奨する。

(3)行政に期待する支援や配慮事項について

- ・建設費が高騰しているため、建設が一年遅延すると建設費は億単位で変動する。
- ・公民連携手法を入れる場合、民間事業者が動きやすい環境を整える柔軟な対応が求められる。
- ・募集要項に地元企業を構成員に参画させる必要がある旨を記載する。

7 サウンディング結果(書面回答分)

(1)建設候補地について

- ・建設候補地を回答いただいた事業者(3社)すべてが「市街地」を推奨する結果になった。

【市街地エリア】

- ・観光(歴史)施設との周遊があれば相乗効果はある。
- ・都心部や府外からのアクセスをなるべく確保する必要があるため、駅付近が良い。
- ・市内の方は車を使用する方が多いと推察されるため、市街地であっても駐車場はある程度必要。

【郊外エリア】

- ・子育て世代が多く住むエリアであれば、子育て環境を整えることにより居住者の満足度を引き上げる可能性がある。
- ・建設に使用する土地が広く確保できる方が、建物、駐車場、その他の建物計画に幅が広がる。
- ・駐車場の確保等が市街地と比べて容易。公共交通が不足している分は、駐車台数の確保でカバーできる可能性もある。
- ・市街地エリアに比べると集客力は劣る。

(2)事業実施に関する提案等について

①ホールの規模

- ・2社より「400～600席」、「800席程度」との提案があった。
- ・1,000席規模は大規模施設・大規模運営となり事業者が参入しづらくなるため、座席数を減らして運営の幅を広げる方が良い。

- ・経費の掛からない運営が可能な、省エネの観点に基づいた小さい建物にすべき。
- ・運営者にインセンティブ（例えば自主事業による利用料金の収益等）が付与されるスキームであれば、多くの席が望まれる。

②求められる機能

- ・3社より「複合施設」の提案があった。
- ・カフェなどはニーズがあるが収益性が低い。必ず人が訪れる図書館等の公共施設の併設は集客に有効。また、集客力の高いイベントを実施することで、周囲の施設にも効果が波及する。

③公民連携手法

- ・3社より「BTO方式」の提案があった。
- ・設計、建設、維持管理から運営業務を一括して発注することで、ホール運営会社の意見を設計に反映することができ、運営・維持管理の業務効率、各種コスト削減も踏まえた総合的な提案を行うことができる。
- ・適正規模のホールならPFI手法は成立する。

(3)行政に期待する支援や配慮事項について

- ・PFI手法やDBO方式、その他の事業方式を採用した場合も、事業計画立案から工事着工まで長い期間を要する。その間の物価上昇に伴う、物価スライドを認めてほしい。予定価格に満たない案件には民間の応札意欲が薄れ、優先度が下がる。
- ・設計会社としては、従来型の方が、DB方式やDBO方式、PFI手法よりも会社選定に参加しやすい。
- ・最終的にどのような建物を建て、どのような目的で来館者を求めるのか等のビジョンを明確にしてほしい。
- ・事業者選定は、事業提案内容と収益の妥当性を強化できる公募型プロポーザル方式が良い。

先進地視察結果報告書

視察日時:令和7年7月2日(水)

視 察 先:永守重信市民会館(向日市)

京都市立芸術大学堀場信吉記念ホール(京都市)

ガレリアかめおか(亀岡市)

1. 永守重信市民会館(京都府向日市)

(1)基礎情報

開館年:2023年

所在地:京都府向日市寺戸町中野20番地

座席数:合計475席

(移動観覧席418席、固定席42席、車椅子席3席、マルチルーム12席

備 考:1階部分の客席を収納し、床面全てをフラット化可能

(2)所見

- ・座席形式は可動席(移動観覧席)中心であり、ホールを平土間にすることでダンス・展示・地域行事など幅広い用途に転用できる柔軟性がある。
- ・一方で、移動観覧席は使用時の歩行音が響きやすく、特に入退場時の足音や揺れが気になるという課題が確認された。

2. 京都市立芸術大学堀場信吉記念ホール(京都市)

(1)基礎情報

開館年:2023年

所在地:京都市下京区下之町57-1京都市立芸術大学A棟3階

座席数:合計800席(固定席676席、移動席・ワゴン席120席、車椅子席4席)

備 考:舞台はプロセニアム形式にもシーソーボックス形式にも転換可能。

1~4列目の床が昇降し、舞台拡張やオーケストラピットとしての利用が可能。

(2)所見

- ・座席形式は固定席中心であり、段床式の配置により舞台との距離感・視認性・音響の一体感がある。
- ・一方で、固定席であるがゆえに空間の使い方は限定され、多目的利用という観点では可変性に欠ける。

3. ガレリアかめおか(京都府亀岡市)

(1) 基礎情報

開館年:1998年

所在地:京都府亀岡市余部町宝久保1-1

座席数:約1000席(すべてスタッキングチェア)

備 考:京都府で唯一の1000席の可動席を有する

(2) 所見

- ・座席形式は可動席(スタッキングチェア)であり、地域交流イベント・展示・ダンス・講座など、多様な市民活動の拠点として稼働しており、「人が集まる場」の中にホール機能が組み込まれている。
- ・一方で、音の反射や視認性に課題があり、集中鑑賞型の用途には不向きである。

総括

- ・固定席のホールは鑑賞環境が安定しており、音楽・演劇など静謐性が求められる公演に適している。
 - ・可動席のホールは最大限の自由度を持ち、交流・展示・市民参加型イベント向きだが、舞台芸術用途とは相性が分かれる。
-

福知山市新文化ホール基本計画再検討の方向性に係る市民意見募集結果

募集期間：令和7年10月20日(月)～11月28日(金)17時

提出件数：201件（うち無記名等13件）

1 機能について（段床固定席をメインとし、市民利用、プロの公演、多様な演目に対応）

賛成	148件 (79%)
反対	19件 (10%)
どちらでもない	20件 (11%)

2 規模について（1,000席規模を基準とする）

賛成	103件 (55%)
反対	49件 (26%)
どちらでもない	35件 (19%)

3 場所について（第1候補は駅北ゾーン、第2候補は御靈公園・厚生会館ゾーン）

賛成	90件 (48%)
反対	50件 (27%)
どちらでもない	48件 (26%)

※各項目に係る自由記述意見は市ホームページに掲載しています。

福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会委員名簿

※五十音順

	氏名	所属団体等
委員長	夜久豊基	社会福祉法人福知山市社会福祉協議会会长
副委員長	菊田学美	福知山市市民憲章推進協議会副会長
委員	足立直敬	新文化ホール見直しの賛否を問う住民投票を求める請願代表
	四方正道	市民公募
	谷垣修身	福知山市新文化ホール整備事業の推進に関する請願代表
	谷 垣 均	福知山市自治会会长運営委員連絡協議会会长
	中村豪文	市民公募
	渕上紫乃	市民公募
	前田竹司	公益社団法人福知山市文化協会会长
	牧野新子	市民公募

福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会アドバイザーネーム簿

※五十音順

氏名	所属団体等
生田 創	しらかわホールチーフプロデューサー 旧長久手文化の家館長(長久手市生涯学習課長)
阪田 弘一	京都工芸繊維大学教授
渡辺 弘	岡山芸術創造劇場ハレノワプロデューサー 彩の国さいたま芸術劇場ゼネラルアドバイザー

最後に

福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会の検討にあたっては、多くの市民の皆さんに意見募集を通じてご参加いただき、貴重なご意見やご提案をお寄せいただきました。心より感謝申し上げます。

市民の皆さんから寄せられた一つひとつのご意見は、福知山市の将来の文化拠点づくりを考えるうえで大変貴重なものであり、本委員会の議論をより豊かで実りあるものとする原動力となりました。

本委員会としては、これまでに寄せられた声を真摯に受け止め、市民の皆さんとともに築く新たな文化ホールの実現に向けて、より良い方向性を市に提言することを目指してまいりました。

今後も、市民の皆さまの思いが息づく文化施設として、福知山市の文化のさらなる発展に寄与していくことを願っております。

ここに、これまでご協力をいただいたすべての皆さんに、深く感謝申し上げます。

令和8年1月
福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会